

# 地域の声を まちづくり



6月28日、町会長・自治会長懇談会が、胆振地方男女平等参画センターで行われました。65人の町会長・自治会長が、市長と将来のまちづくりについて意見交換しました。主な内容をお知らせします。（太字は質問内容）

**胆振支庁の移転の現況と今後の利用見通しは。**

【お答えします】

今年2月に北海道知事からの入居表明を受けて、入江地区広域センタービル建設に向けた検討を「同ビル建設協議会」を中心に進め、平成20年度完成予定としている。現在の胆振支庁の用地は、平成20年度以降の活用となるが、住居系の利用を中心に検討を進めたい。（企画課）

**広域合併構想の考え方は。**

【お答えします】

地方分権など、地方行政を取り巻く環境が大きく変化しているが、将来の自治体の姿を20万人規模と考えています。このため、白老町を含めた7市町による大同合併に向けたフォーラムの開催など、市民の合意形成に向けた取り組みを進めていきたい。（企画課）

**人口減の歯止め策の現状と今後について教えてください。**

【お答えします】

「住み続けられるふるさと室蘭づくり」をテーマに、若者の就業機会の拡大や子育て世代に向けた保育内容の充実、シニア世代の居住環境整備など、世代別の定住支援を進めている。また、企業との面接会や体験事業による移住促進の取り組みも進めており、今後も人口減少の抑

制に向けた取り組みを進めていきたい。（企画課）

**旧大和小学校は今後、どのように利用するのか。**

【お答えします】

昨年3月に小・中学校第2期適正配置計画を策定した。その中で、生徒減少と校舎の老朽化が進んでいる鶴ヶ崎・東中学校の統合を計画し、両校の中間に位置する旧大和小学校を校舎建設予定地としている。学校統廃合は、保護者や地域の皆さんの理解を得て、十分協議して検討を進めていきたい。（教育委員会総務課）

**イタンキ浜は自然があり市民の心の拠りどころとして最適の場所だと思う。公園整備を行ってほしい。**

【お答えします】

イタンキ浜付近の潮見公園には未整備部分があるが、公園については、維持管理を主として行っており、新たな整備は難しい。ご理解願いたい。（都市計画課）

**その他、たくさんのご意見などをいただきました。町会長・自治会長のみなさんありがとうございました。**

**詳細 市民対話課  
☎25 2193**